

---

○議長（土屋清武君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 1時00分）

---

◇ 伴 高 志 君

○議長（土屋清武君） 一般質問を続けます。

通告順位3番、伴高志君。

（2番 伴 高志君 登壇）

○2番（伴 高志君） 通告に従いまして、壇上より一般質問を行います。

私は昨年、平成29年6月定例議会より繰り返し同じ質問をしてきました。「ごみ処理場の1市2町の広域化から離脱せよ」と同じ質問を繰り返してきました。

そして、今年2月17日の下田市の全員協議会で下田市が広域ごみ処理不参加を表明しました。それで、実際にこれは私が主張してきたとおりになってきたのではないかと・・・。

これは、この広域化計画が各市町の住民の利便性や要望よりも国の財政誘導が先にあって、計画が前のめりになっていたこと・・・、進めていくにつれ、この変則的な1市2町の広域化が不合理で、この市町で生活する住民にとって理にかなっていないことが明らかになってきたからなのではないでしょうか。

また、その後、南伊豆町でも下田が抜けると規模が変わってしまい、2町でできるものではないとの新聞報道がされています。

この広域化問題については、一旦白紙に戻し、まずは松崎町民にとっての利便性そして町や民間業者にとって無理のない持続可能な方向性を明らかにしていくこと、その中で、松崎町単独で行うのか、西伊豆町と2町で進めていくことも選択肢の中に入れるべきか精査していくことが必要であると考えます。

私は、自分のごみは自分で片づけることが基本的なことだと考えます。現代社会は多様なごみで溢れています。

そして、余談ですが、日本は島国で地震大国でありながら、人間の生存にとってとても有害な、自然界に返すことが非常に困難な廃棄物もいまなお抱えています。これは、例えて言うなら、トイレのないマンションで生きていくことはできないと。こんな例えをしましたが、そこでやはり分別をしっかりと生活の中でしたり、リサイクルできるものは何か、できないものは何かを学んでいくことは・・・、そういったことも大事なことだと考えております。

そのうえで、町長にこの方向性についてのお考えと意思決定を伺いたく、質問させていただきます。

2番目の質問は、斎場業務の西伊豆町との共同化についてであります。昨年9月の定例会の藤井議員の一般質問の中で、齋藤前町長は、「斎場建設の方向性は西伊豆町に建設との計画を白紙に戻して、両町で協議することにした。下田市にある斎場組合に加わるという考えもあったが、大災害時を考えると西側にも必要であると確認したところであり、両町で基本構想の策定に取りかかることにした。」と答えております。

町長は、前町長の考えと方向性を継続していくのか、この点について、町長の考えと方向性をお聞きしたいと思います。

壇上からの質問は以上になります。

(町長 長嶋精一君 登壇)

○町長(長嶋精一君) 伴議員の一般質問にお答えします。

ごみ処理場建設について。1つ目は、南伊豆町との2町での共同化はやめるべきと考えるかどうかということですが、松崎町をはじめ近隣市町においてもごみ焼却施設の老朽化が進み、維持管理費や改修費が増加し、財政的にも大きな負担となることが懸念されております。このような状況下において広域化が検討されているところでございます。

これまで下田市・南伊豆町・松崎町の1市2町の枠組みにおいて協議が重ねられておりますが、私は広域化により、いかに経費の削減や住民の利便性が図られるのかなどを慎重に精査する必要があると考えます。

議会全員協議会でも報告させていただきましたが、本年3月末までに町の意向を表明することとなっておりますが、6月末まで猶予期間をいただくべく文書で正式に申し入れをしたところでございます。

広域化につきましては今後、議会をはじめ関係者の皆さま方と協議をするなかで方向性を定めていく所存でございます。

2つ目、問題も多いと思うけれども、西伊豆町との共同化を前向きに検討することはできないかという質問でございます。

広域化につきましては、ご承知のように1市2町での協議が重ねられているところでございまして、こちらの方向性を決めることが先決であると認識をしております。

1市2町での広域化計画が見直しとなるような場合においては、さまざまな可能性について今後検証していかなければならないと考えております。

斎場業務の共同化についてでございます。①現在松崎町は西伊豆町に業務委託しているが、実際には松崎町民もいっしょに利用している。遠からず建替えになると思うが、2町共同の方向を検討すべきと思うが、どうか。

西伊豆町との斎場の業務につきましては、現在、施設が西伊豆町内に存在することから、当町からは火葬業務を西伊豆町に委託し、負担金を支出しております。

西伊豆町との新しい斎場の建設につきましては、昨年6月からの担当者間での打ち合わせや、10月には新しい斎場建設に向けた基本構想策定のための基礎資料とするために、静岡市や伊豆市、先月には新設された志太広域事務組合の施設の視察を行っています。

伊豆半島西海岸の斎場につきましては、旧戸田村の斎場が閉鎖されたことにより、西伊豆町の斎場だけとなっておりますので、住民の心情や防災の観点からも松崎町、西伊豆町いずれかへの設置は必要であると考えております。

建設にあたっては、当町においても何らかの負担は生じるものと考えておりますが、西伊豆町と連携を密にし、協議を重ねてまいります。

②既に松崎と西伊豆で西豆衛生プラントの共同化を行っているが、この一部事務組合に業務を編入する方法もあるのではないかという質問であります。

斎場の運営方法につきましては、今までどおりの委託形式で行う方法や一部事務組合による方法、PFIによる方法などがあります。

当町と西伊豆町とでは斎場の所管も異なること、また、斎場と衛生プラントそれぞれの性質の異なる会計を明確に管理するには、既存のプラント会計に斎場会計を編入するのではなく別々に管理したほうがよいと考えています。

しかし、その方向性については今後の課題であり、いまのところほぼ白紙の状況であります。

以上でございます。

○2番（伴 高志君） 一問一答お願いいたします。

○議長（土屋清武君） 許可します。

○2番（伴 高志君） 最初の質問ですけれども、この近々ですけれども、報道によって下田市が離脱するということから1市2町が、2町になったという考えで・・・、町長、その認識で正しいでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 下田市が完全に離脱したということはまだ聞いておりません。ただ新聞紙上ではそのようなことが書いてありますけれども、最終的な決定をするのは3月末となっております。

わが方は、それを3月末ではなくて、6月末までに猶予していただきたいという申し入れをしたということでございます。それはいま私が申し上げたとおりでございます。

○2番(伴 高志君) 私は実際にこの下田市の全員協議会は傍聴に行けませんでしたので、詳しい内容はわかりませんが、下田市が不参加を表明した理由というのは、ご存じですか。

○生活環境課長(馬場順三君) 去る2月に開催されました下田市の市議会全員協議会において当局の方からそちらにつきましては報告があったわけでございますけれども、内容的には、1市2町によります広域化における総合的なスケールメリットが不明確であるというのが、簡単に言いますと、当局側の意見として出ていたところでございます。

○2番(伴 高志君) 不明確であるということは、できないということになるんですか。これは、課長、答弁を・・・。

○生活環境課長(馬場順三君) 今回広域化につきましては、PFI方式といたしまして、民間で運営していく方式が想定されておりますけれども、今回民間事業者による運営面での不安ですとか、いわゆる中継施設・・・、下田市の場合は中継施設をいうのを新たに設けるといような話もあるわけでありまして、そういったことに伴います経費が非常に増加するといようなことの懸念から今回は1市2町の枠組みについては考え直すといような意見が出されたと聞いております。

○2番(伴 高志君) 今の答弁ですと、経費が膨らむということがあると思っておりますけれども、元々はこの1市3町で始まった計画で、西伊豆町が抜けて1市2町になって、広域化することによって経費の削減ということ何度も町長もおっしゃったと思うんですけれども、実際に蓋を開けてみたら中間の貯蔵の場所が必要であると・・・、松崎町にとっては峠を越えていくわけですから、なおさらそういうことも必要になってくると思っておりますので、非常に経費の面でも困難が出てきたと感じますが、いかがでしょうか。

○生活環境課長(馬場順三君) ただいまの中継施設につきましては、下田市だけの事例でございまして、松崎町については該当しない事例でございまして。

○2番(伴 高志君) 町長、では、松崎町の場合は中間貯蔵庫を設けないという考えですか。

○生活環境課長(馬場順三君) 松崎町につきましては、通常どおりパッカー車を持ちまして南伊豆まで運ぶということを想定しております。途中で一旦仮置きをするということは想定しておりません。

○2番(伴 高志君) 峠を越えていくわけですから、まず、今の現状維持といところで町と

業者の割合でやっていると思いますけれども、こういうところも負担がかなり多くなって、そして、やっぱりいろんな想定がありますけれども、例えば災害時に通行できないと・・・、大雨なんかでも通行が困難な道路だと思しますので、そういう場合は運搬できないということになっちゃいますけれど、そこは問題ではないですか。

○生活環境課長（馬場順三君） これは、例えば、仮に南伊豆町に設置された場合には、一つのルートとしましては、136号を通りまして西海岸をずっと南下するルート、もう一つは、下田松崎線を通りまして下田の方から入るルート、それからもう一つは、岩科方面・・・、南伊豆松崎線を通っていくルート、3ルートございますので、災害の時には適切なルートを通して現地に出向くというような形になるかと思います。

○2番（伴 高志君） いずれにしても、週2回、それで夏場は週3回という・・・、この現状を維持するのであれば、町と業者にとってすごく負担になって、かつ、その中間貯蔵庫も設けないという経費でそこを削減しているのはわかるんですけども、利便性というところでは、かなり困難があるのではないかと思います、どうでしょうか。

○町長（長嶋精一君） まず、申し上げておきたいことは、伴議員がおっしゃった昨年の6月から伴議員が主張しているとおりになったというようなことをおっしゃいましたが、決して伴議員の言動に動かされて下田市がやめるというようなことを言ったわけではありません。

それぞれの市町が、やはり住民のことを考えて、それと、今後のことを考えて、資金負担はどうなるのか、メリットはどこにあるのかということをしかりと考えたうえで、1市3町でやろうじゃないかということになったわけであります。

そういう計画をやっていて、初めて精査をして、これは思ったとおりにいかないぞというようなことが浮き彫りになるわけですね。

したがって、私が言いたいことは、伴議員もおっしゃいましたけれども、私も町長になってまずやったことは、この計画が、シミュレーションが果たして本当なのかということをしかりと精査しました。しかりと。今も精査している最中であります。

それで、まず何よりも住民にとってどうなのかということは、伴議員に負けないくらい私は考えております。以上です。

○2番（伴 高志君） 町長、答弁ありがとうございます。

ですから、私は、松崎町の10年先20年先ということを見ると、より小さく広域でまとまるという方向ではなくて、単独でやっていけるものは単独でやる、あるいは西海岸と東海岸と・・・、そういう分け方というのは必要であると感じているんですけども、いかがでしょうか。

○町長（長嶋精一君） いま伴議員がおっしゃったことは、私もそういうふうに、全くそのとおりに思っております。

東伊豆町と河津町は一緒にやっております。要するに、東の方は一緒にやっているわけですね。南伊豆と下田市がどうなるかわかりませんが、西の方もやはり万が一災害が起きた時に、このような施設は西伊豆町と松崎町が一緒になるという意味ではございませんよ。まだ決定おりませんからね。まだ話もしていませんから。

ただし、西伊豆方面で一つはあった方がいいと私は、伴議員の言うとおりに思っております。

○2番（伴 高志君） もちろん住民の利便性ととも、その場所をどう決めていくかということ、もう非常に大変な業務でありますので、そういったところで選択の余地としては、町長の6月まで待つて欲しいというその回答のこともあるんですけども、やはりそれと同時に・・・、現在は・・・、繰り返し以前と同じ内容ですけども、松崎町と西伊豆町に関しては、老朽化がそこまで進んでいないと・・・、まだ20年経っているか経っていないか、そのくらいの規模で、これは修繕をしながら、継続していくことは可能だと、その期間の中で・・・、単独で継続していくか、共同で行うかという・・・、もう少し余裕をもった選択ということは可能だと思いますが、いかがでしょうか。

○生活環境課長（馬場順三君） 現在1市2町の広域化において何度か話し合いが進められているわけでございまして、南伊豆町の岡部町長におきましても、下田市の正式な連絡を待つて、3月末までには最終方針を決めるということをお明言されておりますので、とりあえずは、1市2町での枠組みの方向性について決定をするということがまずは先決であると認識しているところでございます。

○2番（伴 高志君） では、町長、3月末にはもう結論が・・・、もう出さなくてはいけないということで間違いはないでしょうか。

○町長（長嶋精一君） 私は、南伊豆町の方には6月末まで猶予していただきたいと申し入れをしております。

そして、しかしながら、やはり3月中には我われの考え方というものをしっかりとシミュレーション等を検証したうえで、腹の方は決めていきたいと思っております。

そして、腹が決まりましたら、議会の皆さん方にもしっかりと説明をして、そのうえで、南伊豆町との最終的な交渉はしてまいりたいと考えております。

○2番（伴 高志君） 最後、町長の答弁がいただけましたので・・・、まだ決定事項ではないということをお踏まえつつ、私は引き続き1市2町はやめるべきだということが・・・、お願いして

いきたいと思います。

それでは、2番目の質問ですが、斎場業務に関してですけれども、先ほど答弁をいただきましたが、①この斎場業務に関しては、現在は西伊豆町に委託しているということになると思いますが、やっぱり利用しているのは、一緒に利用しているということがありますので、ここは非常に難しいところですが、実際は、担当の方同士のお話合いとかは進んでいますでしょうか。

○窓口税務課長（齋藤 聡君） 先ほど町長の答弁にもございましたように、昨年の6月から担当レベルで話し合いは重ねております。

その関係で、10月と先月になりますが、基本構想策定のための基礎資料とするために静岡市、伊豆市それと志太広域の事務組合の施設の方の視察ということで実施しております。

○2番（伴 高志君） それでは、この業務としては2町で行っていくという方向だと思います。

これは・・・、西伊豆町と松崎町の町長間の形ということではなくて、担当者でやっていくという形になりますか。

○窓口税務課長（齋藤 聡君） 実際に打ち合わせを始めたのは、前の齋藤町長の時からになりますので、現在のところは齋藤町長の意向にも則りまして、とりあえず、先ほどの町長の答弁にもございましたように、旧戸田村の施設がもうなくなりましたので、そうなりますと、西海岸につきましては、もう西伊豆町の斎場しかございません。

そうなりますと、やはり火葬場まで行く距離ですとか、防災の関係なんかを考えますと、どうしてもやっぱり西海岸には一つは必要ではないかという考えで、今の長嶋町長の方も考えておりますので、その方向で考えたいと思っております。

○2番（伴 高志君） ありがとうございます。

ですから、この形が・・・、西伊豆と一緒にやっていくという方向で検討されていると思いますが、細かい部分になりますけれども、齋藤前町長の時は、合併特例債を使ってということでありましたけれども、ここの予算的なことというのは、どうなっていますでしょうか。

○窓口税務課長（齋藤 聡君） 合併特例債については、松崎町は適用ができないと思っておりますので、過疎債か何かを使うような形になるのではないかなと思っておりますが、いずれにしても、まだ斎場の関係につきましては、話し合いが始まったばかりでして、具体的な内容については、まだ正式には話し合われていませんので、予算関係についても今のところはまだ話が進んでいないというような状況になっております。

○町長（長嶋精一君） 町長が替わりまして、私は、齋藤前町長のことを全部反対して、全部や

り替えるという気持ちは毛頭ありません。

いいことはいい、悪いと思えるようなことは変えていくという、是々非々の態度でやっております。

したがって、今の斎場の問題については、私はまだ西伊豆町の町長とも全く話はしておりません。だから、いま答えたように、係間で齋藤前町長の意向に従ったことで進めていると思っておりますけれども、私はまだ全く内容については承知しておりません。

だから、どういうふうに行くかということは、余談をもって言うことはできないものですから、その点でよろしくをお願いします。

○2番(伴 高志君) 西伊豆町とは隣同士ですから、なかなか場所問題・・・、より密な関係で簡単なことではないと思いますけれども、経過を聞きますと、やっぱりこの・・・、最初のごみの処理場の問題もありましたけれども、西伊豆町と一緒にやろうとしてうまくいかなかった経過、それは・・・、西伊豆町の予算が膨らんでしまって、とてもこれは、松崎町はこれに参加することはできないということがありましたので、これはよく・・・、距離感も大事ですけれども、町長同士のそういった実際のやっぱり現状を話し合うという形も必要かと思いますが、いかがでしょうか。

○町長(長嶋精一君) 伴議員のおっしゃるとおりだと思います。そういうふうに行動していきたいと思っています。

○2番(伴 高志君) それでは、町長のお考えもある程度方向性とともに見えてきたように伺えますので、私の質問はこれで終わりにしたいと思います。

○議長(土屋清武君) 以上で伴高志君の一般質問は終わります。

暫時休憩します。

(午後 1時30分)

---